



クラスの様子【12月号】



ひよこ・りすぐみ 今月の目標

『友だちや保育士と簡単な言葉を通して関わりを楽しむ。体調面に気を付け、身体を十分動かし、寒さに負けない身体づくりをする。』

日に日に寒さが増し、体調を崩す子が多くなってきました。健康観察をしっかりして過ごしていきたいと思います。毎日、朝の集まりで一人ひとり名前を呼んでいます。今まで手をあげていた子が周りの友達に刺激され、「はい！」と返事をして手をあげるようになりました。一人ひとり表現の仕方は違いますが、「ぼく、ここにいるよ！」「わたしはここ！」と名前を呼ばれると手をあげながら、はにかんだり、にこっと笑ったり、両手をあげたりと見ていてとてもかわいらしく、幸せ空間が広がっています。そして、友達がいなことに気付いたり、お休みの理由を気にしたりと友達への関心がずいぶん高くなっていると感じます。お散歩では長い距離を自分の歩調で歩き、様々なものに目を向け、触って確かめたり、身近な自然物、穴の開いた葉っぱ、小枝、お茶の実、椎の実、どんぐりなど子ども達の興味を引くものがたくさんあります。お茶の実一つでも、大切に持ち歩いている子、足で踏んでパリッという音を楽しんでいる子、コロコロ転がしている子と様々な楽しみ方があり、面白いと思います。“みつけた！”の発見があってこそ感動が生まれ、感性が育まれるのだと思います。これからも一人ひとりの子どもが自分で遊び、見つけたその子の「好きなこと・もの」を理解し、大切にしていきたいと思います。12月は新しいお友達が2人増え、33人になりました。みんなで楽しく仲良く過ごしていきたいと思います。(市川)



うさぎぐみ 今月の目標

『寒さに負けず、たくさん食べ、たくさん身体を動かして強い身体作りをする。』

11月だというのに冬はいつ来るのか…と思うほど暖かい日が続いていましたが、気づけば気温も下がり上着が手放せない季節に突入しました。毎日のように伝えている上着のたたみ方も覚え始め、自分で上着を広げて取り組んでいる子も増えてきました。戸外に出る時は「ジャンパーきやなあかな！」と自分で出でてきて袖を通そうとしてみたり、チャックやボタンに挑戦したり、まだまだ難しいこともたくさんありますが、やり方を伝えながら子どもたちのペースでできることを増やしていけるといいと思います。そして、以上児に移行するにあたりおやつや食器を自分の手で持ち片づけたり、お盆に食器を乗せて運ぶ練習も始めました。初めてのことがたくさんで緊張する様子もありましたが、いざやってみると集中して話を聞き、ほとんどの子が落とすことなく集中してお盆を運ぶ姿に成長を感じました。もう1ヶ月も経てば年少さんまであと3ヶ月。あっという間に過ぎるでしょうが、残りの時間も保護者の方々と子どもたちの成長と一緒に喜び、見守っていききたいと思います。(倉田)



以上児 今月の目標

『リズムに合わせて身体を動かしたり、自分なりに言葉や動きで表現することを楽しむ。』

朝晩の冷え込みが厳しくなりはじめ、寒暖差も激しく、体調を崩してしまう子も増えてきています。子どもたちには日々、【手洗い・うがいについて】【衣服の調節について】【食事と休息の大切さ】などを伝えています。これからも感染症には十分に気を付けながら、一人ひとりの体調面をしっかり見ていきたいと思います。11月には、年少児は小社公園、年中児は名古屋港水族館、年長児は名古屋市科学館とそれぞれ秋の遠足に出かけました。遠足に行くまでには、交通のルールを知ったり、公共の場での約束事なども子どもたちと一緒に考えたりと、当日まで楽しみにする気持ちを大切にしながら取り組みをしました。“楽しい遠足にするために、まず一番大事なことは？”“せんせいはなしをきく”“他のお客さんの迷惑にならないようにするには？”“しずかにする”“迷子にならないようにするには？”“おともだちとてをつなぐ”など、子どもたち自身でしっかり考えられるようになってきていて、成長を感じることができました。普段の保育の中でも、子どもたち自身でルールや約束事などを考えられる場面を大切にしていきたいです。(平塚)

